

◆ 2020 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：嵐山町里山保全会
 代表者：代表 神岡 裕介
 URL :

23A-28

1. 活動が必要とされた状況

嵐山町では、少子高齢化の影響により、山林管理ができない現状が多く見受けられる。人工林の多くは、外材との価格競争により、経済的な面で管理をしなくなった。現在は、先に挙げた高齢化という面でも管理ができなくなっている。管理放棄が起こり、人工林が持つ公益的機能も乏しくなっている。また、自然景観や人と自然の関わりから生まれる情景も減少し、人々の自然や地域への興味関心も薄れていく現状も見られる。上記のような課題や現状を打破すべく活動することは必須であった。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

平成 30 年度から発足した当会は、3 年目の活動を迎えた。主要メンバーは、数名と少ないが、サポーターの力を借りて活動や交流を図ることもできた。

今年度は、枝や朽木、場内にある切り捨てられた木材などを減らす、場の整備に注力をした。そのため、助成金を頂いて、チップパーの購入をさせていただいた。

また、近隣にある県立小川高校生 5 名にも山林作業の見学をしてもらい、活動の普及啓発が実施できた。他には 20 代のサラリーマンが活動に興味を抱き、参加してくれている。次世代へのバトンタッチも意識していければ嬉しい。



作業日時	作業内容	備考
4月4日(土)	草刈・チップパー作業	4名、1.4m ³
4月11日(土)	草刈・チップパー作業	3名、0.6m ³
5月2日(土)	場内清掃	4名
5月9日(土)	広場清掃	1名
9月5日(土)	間伐・チップパー作業	9名、1.5m ³
11月21日(土)	チップパー作業	2名、1m ³
12月15日(火)	間伐・チップパー作業	4名、2m ³
1月26日(火)	間伐・チップパー作業	3名、1.2m ³

左：チップパーの作業写真 右：活動状況

3. 活動の成果

当会の管理している嵐山町有林には、切捨て間伐された材が積み上げられている場所が多い。それらを可能な限り、チップにすることができ、林内はきれいになり、人も入りやすくなった。そのため、散策に来る人に出会う頻度が増したように感じる。

4. 今後に残された課題

間伐、枝打ち、チップ化という一連の流れができ、今後は、木材の搬出のための林内作業車が必要になってくる。木材を販売する出口は見てきたので、山林保全と事業化の循環を構築していきたいと考えているとともに、実現をさせたい。